

## ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご利用ください。

栃木県土木部建築課



# 土 質 柱 状 図

報 告 用 紙

調査名・調査地点 足利女子高校生活指導室  
新築工事に伴う地質調査

標 高

m

調査年月日 60年6月20日~60年6月22日

ボーリング孔: 16

1

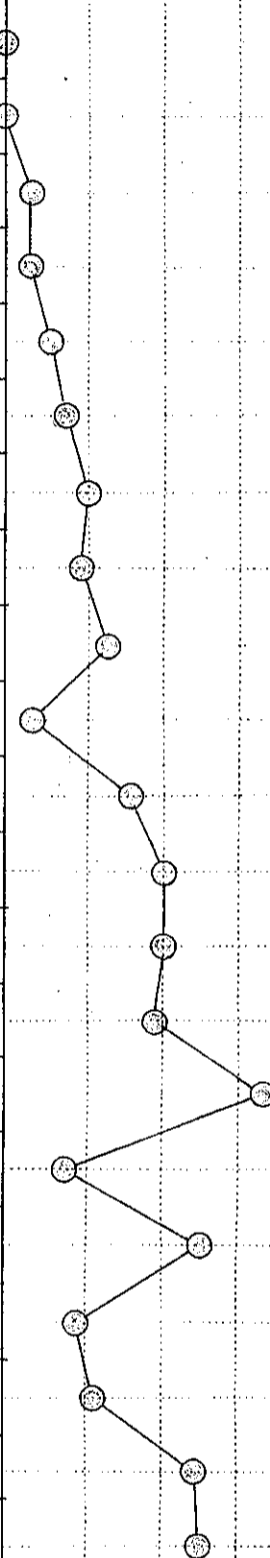
孔 内 水 位

GL - 0.55

m

調査担当者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	現場観察記録				標準貫入試験					試料採取							
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数 貫入量 cm	10cmごとの 打撃回数			N 値					試料番号	深さ m	採取方法
										10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30	40			
1		0.80	0.80	埋	土	暗茶灰	碎石粘性土の混合土													
2		1.70	0.90	表	土	暗灰	腐植物有機物混在 若干砂分混在	0	自沈											
3		2.70	1.00	シルト	暗黒灰		腐植物有機物混在 粘土、シルトの混合土	0	自沈											
4							腐植物有機物混在 砂分不規則に挟有 GL-4.30~4.50mに 砂層挟有	3/30	1	1	1									
5							全体にシルト性帯ある	3/35	1	1	1									
6								4/32	1		2	2								
7		6.80	4.10	腐植土	暗茶灰		腐植物有機物混在 全体に粘土性帯ある	5/31	1		2	2								
8		7.70	0.90	シルト	暗青灰		腐植物有機物混在 含水(中)有機物、雲母混在	8/30	2	3	3									
9		8.80	1.10	シルト混り細砂	暗青灰		シルト、砂層の混合土	7/30	2	3	4									
10		9.80	0.80	シルト	暗茶灰		腐植物有機物混在 全体に有機物状と呈す	4/30	4	4	4									
11		10.70	1.10	中砂	暗灰		含水(中)粗粒砂多混在 全体にシルト性帯ある	3/33	1	2	18									
12							含水(中) 腐植物有機物混在 砂分若干混在し 全体に粘土性帯ある	16/31	4	6	6									
13		12.90	2.20	シルト	暗青灰		腐植物有機物混在 砂分若干混在し 全体に粘土性帯ある	20/30	7	7	6									
14		13.70	0.80	中砂	暗緑青		含水(中)粗粒砂多混在 シルト不規則に散在	20/30	7	7	6									
15		14.80	1.10	シルト	暗青灰		腐植物混在雲母散在 粘着(大)	19/30	6	6	7									
16		15.90	1.10	粗粒砂	暗青灰		小礫骨混在、中粒砂多 混在、シルト斑状に散在	33/30	8	12	13									
17							腐植物有機物混在 若干砂分混在 粘土性帯ある	8/30	2	3	3									
18		17.60	1.70	シルト	暗青灰		腐植物有機物混在 若干砂分混在 粘土性帯ある	25/30	6	9	10									
19		17.90	0.30	砂	暗青灰		最大礫径20mm前後	9/30	2	3	4									
20		19.80	1.90	シルト	暗茶灰		含水(中) 腐植物有機物混在 粘土性帯ある	11/30	3	4	4									
21		20.30	0.50	凝固シルト	暗黒青		全体に硬結状と呈す	24/30	8	8	8									
22		21.45	1.15	シルト	暗灰		腐植物有機物混在 若干砂分混在 全体に硬結状と呈す	25/30	8	8	9									
23								21.48												



備考:

試料採取方法の記号

- シンウォールサンプラー
- 貫入試験用サンプラー

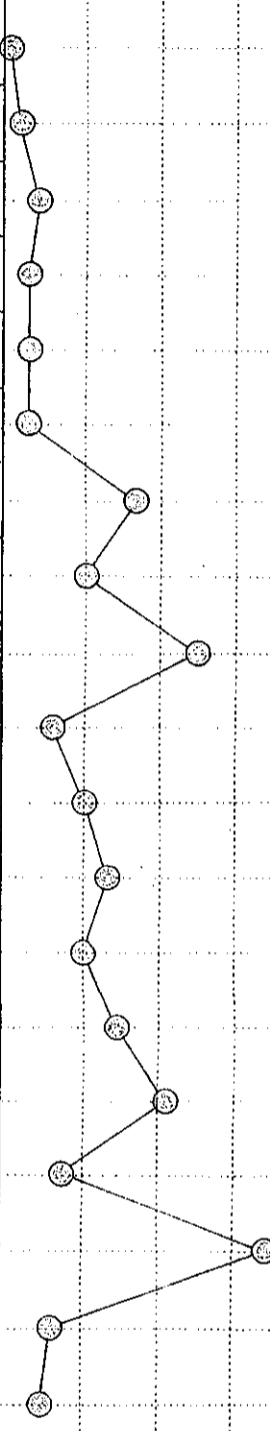
- ◎ デニソン型サンプラー
- ⊕ フォイルサンプラー
- × その他

# 土 質 柱 状 図

報 告 用 紙

足利女子高校生活指導室  
 調査名・調査地点 新築工事に伴う地質調査 標 高 m 調査年月日 60年6月24日~60年6月26日  
 ボーリング孔: № 2 孔内水位 GL-0.45 m 調査担当者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	現場観察記録			標準貫入試験					試料採取								
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数 貫入量 cm	10 cm ごとの打撃回数			N 値					試料番号	採取方法	
										0	10	20	30	40	50	60				
1	0.80	0.80	0.80	埋	土	暗茶	灰	含水(大). 粘土,シルトの混合土. 腐植物,有機物混在. 砂分混在.	1.15	1/32	1/32									
2	1.80	1.00	1.00	表	土	暗	灰	シルト,粘土の混合土. 腐植物,有機物混在. 腐食性帯状粘着(大).	1.47	2/31	1/16	1/15								
3	3.10	1.30	1.30	シルト	黒	灰		2.15	4/31	1/11	1/1	2								
4								含水(大). 腐植物,有機物混在. 砂分不規則に挟有. 所々漏水性あり. 全体にシルト性帯びる.	3.15	3/35	1/20	2/15								
5									3.45	3/31	1/11	1/11	1/9							
6	6.70	3.60	3.60	腐植土	暗茶	灰		3.45	3/30	1/1	1/1	1/1								
7								含水(中). 腐植物,有機物混在. 微砂多混在. 下部粘着性帯びる.	7.15	17/30	4	6	7							
8	7.80					青	灰		7.45	10/30	3	3	4							
9	8.80	2.10	2.10	シルト	暗茶	灰		8.15	25/30	3	9	13								
10	9.70	0.90	0.90	シルト混り細砂	暗青	灰		9.15	6/30	2	2	2								
11	10.10	0.40	0.40	中	暗	乳	灰	含水(中). 腐植物,有機物混在. 粗粒砂多混在. シルト,細砂の混合土. シルト,腐食性帯びる.	9.45	10/30	3	4	4							
12	11.50					暗青	灰		11.15	13/30	4	4	5							
13	13.30	3.20	3.20	シルト	緑	灰		11.45	10/30	1	3	6								
14	13.60	0.30	0.30	中	砂	暗	灰	含水(中). 粗粒砂混在. シルト性帯びる.	12.15	14/30	4	4	6							
15								含水(中). 腐植物,有機物混在. シルト,細砂の混合土.	13.45	21/30	7	7	7							
16	15.80	2.20	2.20	シルト混り細砂	暗青	灰		14.15	8/30	2	2	3								
17	16.30	0.70	0.70	シルト	青	灰		14.45	34/30	11	11	12								
18	17.50	1.00	1.00	細砂	暗	緑	青	含水(中). 腐植物,有機物混在. 最大礫径φ20前後.	16.15	6/30	2	2	6							
19	17.80	0.30	0.30	砂	暗	茶	灰	腐植物,有機物混在. 粘着性帯びる.	16.45	5/30	1/11	2/10	2/9							
20	19.30	1.50	1.50	シルト	暗	茶	灰		17.15											
21									17.45											
22																				
23																				
24																				
25																				
26																				
27																				
28																				
29																				
30																				



備 考:

試料採取方法の記号  
 ● シンウォールサンプラー  
 ○ 貫入試験用サンプラー  
 ◎ デニソン型サンプラー  
 ⊕ フォイルサンプラー  
 × その他